



みやぎ

- 35号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 清野 仁
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

新年のご挨拶



院長 清野 仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

年も改まり、未曾有の東日本大震災の発生から、早や2年の月日が経過しようとしています。昨年は復興元年と位置づけられ、地域では、工事車両が行き交い、いちごハウス等の地場産業も復活の兆しが見え始めています。しかし、一方、生活基盤となる住宅の建設やJRの再開事業などは、漸く緒に就いたばかりであり、本格的な復興にはまだまだ多くの年月と労力を要するものと実感しているところです。宮城病院のある山元町は、地域住民の転居などによる加速度的な人口減少にも直面しており、町の復興計画案に基づいた、利便性のある、安心して居住できる町の一日も早い実現を、心より願うばかりです。

当院の経営におきましても、やはり、震災の影響がボディブローのように徐々に表れ始め、障害者自立支援法の改正による減収に加えて、昨年後半からは、外来、入院患者数の減少に伴い、医業収益が落ち込むなど、累計では当初計画を下回る見通しとなりました。

しかし、この地域で唯一の病院である当院が安定した運営のもとに、町の医療・福祉を担うことは、多くの住民にとっての安心材料となり、町の復興にも大いに寄与するものと考えております。そして、町の復興が、さらに当院の経営にも、より良い結果をもたらす、互いにプラスの双方向性をもった関係になるものと確信しています。

山元町の震災復興計画の中で、当院は医療福祉ゾーンの中核と位置づけられており、現在、町からの要請を受けて、病院敷地の一部を災害公営住宅および福祉施設用地として譲渡する計画を進めているところでもあります。さらに、老朽化した外来管理棟の建て替えを実現し、平時は医療・福祉センターとして、災害時は災害対応の拠点としての重要な役割を担うことが責務であると考えており、今後、ますます当院の重要性が高まっていくことが予測されます。

(次ページへ)

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

(前ページより)

当院は震災以降、様々な取り組みを行っております。看護師やリハビリ科職員の仮設住宅への派遣・支援やヘルパー2級講座の開催による医療介護従事者の育成、市民公開講座の開催、さらに、昨年末には、新たにパーキンソン病センターを立ち上げるなど、地域医療と政策医療を両立させるべく努力してまいりました。また、昨年中断を余儀なくされた病院機能評価も、今年中に改めて受審することとして、全病院をあげて準備を進めるなど、この逆境を乗り越えるべく、全職員が一丸となつての取り組みを行っているところです。

当院が、住民の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民に安全で心を込めた良い医療を提供していきたいと考えております。

本年も宜しくお願いいたします。

第1回 宮城病院公開講座を開催



平成24年10月27日(土)「パーキンソン病を知ろう」と題して、第1回宮城病院公開講座を亘理町悠里館にて開催しました。宮城病院では、神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科が治療連携を行い、パーキンソン病に対するトータルケアを目指しており、今回は、パーキンソン病の概要と当院が実施している治療について、より多くの方々にご理解いただく事を目的として開催いたしました。

副院長の久永欣哉先生から病気の特徴や治療薬、サンケイリビングにも紹介された治療経験が豊富な統括診療部長(脳神経外科部長)の安藤肇史先生から手術による治療、理学療法士長の北出雅也先生からリハビリテーションについてスライドや動画を交え約1時間30分の講演をいただきました。当日は、患者様のご家族をはじめ、医療・介護施設の方々などを含め100名を超えるご参加をいただき、最近の話題から具体的な症状の事まで積極的にご質問をいただくことができました。

今回は宮城病院として初めての一般の方々を対象とした公開講座でしたが、今後も当院が行っている神経難病治療を中心に、地域の皆さまに役立つ情報を発信出来るよう、継続した開催を考えていきたいと思えます。

(経営企画室長 長澤 良相)



第66回 国立病院総合医学会に参加して

平成24年11月16(金)～17日(土)の二日間にわたり、神戸市で第66回国立病院総合医学会が行われ当院からも多くの職員が参加しました。参加された方の中から2名の方に感想をいただきましたのでご紹介します。

平成24年11月16日(金)～17日(土)の2日間、神戸国際会議場及び神戸国際展示場で開催された第66回国立病院総合医学会に参加させて頂きました。

今回は一日目のポスターセッションで「パーキンソン病患者のDBSに伴う体重変動について」という演題を発表させて頂きました。総合医学会での発表は何度か経験してはいたけれども、会場に入ると学会特有の雰囲気圧倒され非常に緊張しましたが、多くの方に聴講に来て頂き、無事行うことができました。

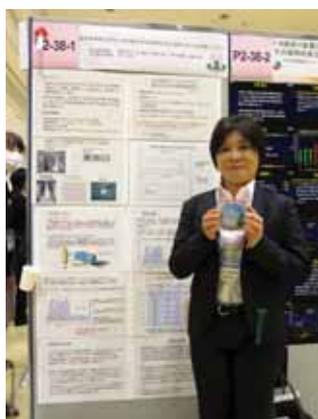
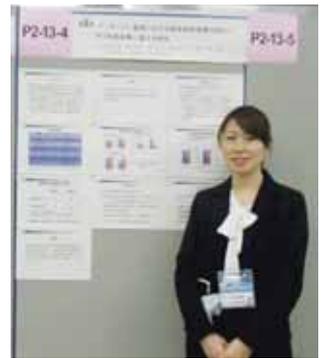
(次ページへ)

(前ページより)

また、当院で今年度7月より開始した栄養サポートチーム加算について他施設ではどのように行っているのかといった情報も得ることができ、大変充実した学会となりました。その他、各シンポジウムやポスターセッション、一般口演などからも様々な情報を得ることが出来ました。この学会を通して学んだことを今後の業務に反映させ、より多くの患者様に貢献していけるようがんばっていききたいと思います。

今回の発表を行うに当たりご指導頂きました当院脳神経外科の仁村先生を始め、聴講に来て下さったスタッフの皆さま、本当にありがとうございました。

(栄養士 小笠原 新菜)



平成24年11月16日(金)～17日(土)に神戸国際会議場・国際展示場にて行われました第66回国立病院総合医学会に参加させて頂きました。数年前から参加させて頂いており、毎年大きな学会だなという印象を持っていました。今回はその中でも過去最大の参加者を誇った会であったということを知り、なるほど広い会場の中、どこのブースもたくさんの方で賑わっていた訳だと妙に納得しました。

今回は「医用モニタの経年劣化の傾向と対策」についての発表をポスター形式で行いました。当院は放射線の検査結果をFilmでやりとりする事のないシステム運用しています。このシステムは撮影した画像の観察をパソコンのモニタのようなもので行いますが、少し特別なモニタを使用しています。

この医用モニタをいつも良い状態で使用して頂くために当科にて管理を行っており、今回はその管理の経過等を報告させて頂きました。発表データをコツコツ積み重ねていく作業が中心ですので、放射線科内のスタッフのみならず他部門のスタッフの協力も得られてこそ今回の発表であったと思います。このような機会を与えて下さったことも加え、皆様に改めて感謝したいと思います。

学会最終日はあいにくの雨でしたが、発表後に少し観光もさせて頂きました。タクシーに乗った際、宮城県から訪れたことなどを話すと、震災の苦労を労って頂き、さすが神戸だなあと感じ入った事もありました。また機会があればゆっくり訪れたい、すてきな街だなと思いました。

(診療放射線技師 菅野 典子)

紹介医療機関 (12月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック (70件)
- ・仙台厚生病院 (43件)
- ・南東北病院 (35件)
- ・浜吉田駅前内科 (29件)
- ・みやぎ県南中核病院 (28件)
- ・公立相馬総合病院 (55件)
- ・平田外科医院 (36件)
- ・東北大学病院 (34件)
- ・三浦クリニック (28件)
- ・やべ内科クリニック (27件)

上位10医療機関のほか、県内外185医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成25年1月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
			神部 陽子	神部 陽子		仙台医療センター医師
神経内科	新患	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	再来	今井 尚志	伊藤 博明	松本 有史	久永 欣哉	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)	県立がんセンター (検査日)	
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)		療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 泉山 祐美 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子 (14:00~15:00)	
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来		神経内科外来にて随時受付			
	頭痛外来		神経内科外来にて随時受付			
	もの忘れ外来		神経内科外来にて随時受付			
	ALS外来	今井 尚志				
	禁煙外来					山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線亙理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

